

祝！2025大阪・関西万博決定記念

「平成30年度市町村トップセミナー」開催レポート 生涯現役社会 ～健康長寿社会の実現をめざして～



平成31年2月4日、シティプラザ大阪に集まった方総勢210名超。
市町村長・副市町村長・市町村議会議員・議員の皆さま、そして市町村職員に加え、今回は大阪府から濱田副知事をはじめ幹部等職員、並びに大阪商工会議所の会員企業の皆さまにも多数ご出席いただきました。

セミナー冒頭に、松本副理事長（千早赤阪村長）から主催者挨拶として「本トップセミナーが生涯現役社会・健康長寿社会の実現に寄与することを期待する」とのご発声に始まり、大阪府の濱田副知事にご来賓のご挨拶を頂戴しました。



（主催者挨拶）本協会副理事長
千早赤阪村長 松本 昌親 氏



（来賓挨拶）
大阪府副知事 濱田 省司 氏

第1部では、経済産業省の風木淳大臣官房審議官（経済産業政策局担当）に、「人生100年時代に対応した『明るい社会保障改革』の方向性～産業構造審議会2050経済社会構造部会の検討状況～」と題し、ご講演いただきました。



経済産業省大臣官房審議官
風木 淳 氏

風木審議官からは、100歳以上の高齢者が50万人を超える社会が到来する2050年に向けて、健康長寿・生涯現役社会に向けた「明るい社会保障改革」の必要性、そして具体的な政策課題として健康寿命の延伸に向けた予防・健康インセンティブ、とりわけ「ナッジ」の活用や「予防・健康インセンティブ」の強化について自治体のモデル例、高齢者の雇用制度改革、年金制度についてもご説明いただき、「明るい社会保障改革はまさに動いており、雇用の議論も進んでいて65歳から70歳にできるだけ自由・柔軟な形で雇用を増やしていく制度を作ろうという

提案もされており、それに合わせて年金制度も見直していこう、さらには、健康予防として、民間事業者・都道府県との連携なども視野に、全世代社会保障（あらゆる世代に配慮しながら、全体の仕組み）としてやっていこう、としている。今年の6月には、未来投資会議、経済財政諮問会議で議論をして、政府の方針として必要な予算や法改正など、実現をめざしていく流れになる。」と締め括られました。

第2部のパネルディスカッションでは、大谷邦郎氏（グッドニュース情報発信塾塾長）をコーディネーターに迎え、パネリストには風木審議官に加え、大阪府から藤井睦子健康医療部長、大阪商工会議所（ライフサイエンス振興委員会）から森下竜一副委員長（大阪大学大学院医学系研究科教授）、そして振興協会理事長の阪口伸六高石市長を迎え、大谷コーディネーターの進行の元、パネリストの各分野での取組みについてそれぞれ5分間の紹介があった後、聴講者へのメッセージ（キーワード提示）など、大谷氏の質問に対する質疑形式でディスカッションを実施しました。



グッドニュース情報発信塾
塾長 大谷 邦郎 氏

「持って帰っていただきたいキーワードは？」という大谷コーディネーターの問い掛けに、藤井部長からは「悪いところも課題も含めて知るところから始めよう」、阪口市長からは「ピンチはチャンス」、森下副委員長からは「自分で守る」と各位発言されました。

そして、終盤、大谷コーディネーターから「（持って帰っていただきたいキーワード）そのココロは？」との問い掛けに、藤井部長から「まず知ること」とは「保険者努力者支援



大阪府健康医療部長
藤井 睦子氏

制度、各市町村ごとの点数が出ているので、市町村がどのような状況か知っていただきたい。何をしなければいけないのか、それをするためのボトルネックは何かを考えていただきたい。そして、どういう手助けのツールがあるのか、ということを知っていただきたい。大阪府も努力するので、知った上で事業を進める。また、これからは全体を語るのではなく『見える化』で個人個人の健康状況、市町村ごとの状況を見える化して、取り組むことが重要である」とご説明いただきました。

続いて、阪口市長から「ピンチをチャンスに」とは「やればできるので、ピンチをチャンスに変えないといけない」と説明。

森下副委員長から「自分で守る」とは「アンチエイジング、セルフメディケーションの取組み、そのお手伝いを自治体をお願いしたい。最初の一步が重要。高石市だけではなく、他の自治体や国でも試みをしていただきたい」と説明。

風木審議官からは「藤井氏、阪口氏、森下氏三方のキーワードのとおり、明るい社会保障ということもあり、深刻になり過ぎず、前向きに最後までやりきることが重要である」とご意見を頂戴しました。

「健康長寿社会の実現」のために、どのように取り組んでいけばよいのか、それぞれのフィールドでの健康づくりに関する取組みについてご紹介いただき、聴衆の皆さまには、各パネリストのアツい“ココロ”を聞いて、健康長寿社会の実現に向けて「足元を見つめなおす」良い機会になったのではないのでしょうか。



本協会理事長
高石市長 阪口 伸六氏



経済産業省大臣官房審議官
風木 淳氏



大阪商工会議所ライフサイエンス
振興委員会副委員長
森下 竜一氏



大阪府ホームページ ※「おおさか健活マイレージ アスマイル」で検索

<http://www.pref.osaka.lg.jp>

高石市の取組みについて

http://www.city.takaishi.lg.jp/kakuka/fukushi_hoken/kenkodokuri_ka/smartwellnesscity/index.html

大阪商工会議所ホームページ

<http://www.osaka.cci.or.jp/>